研修医評価票(案)

「B. 資質・能力」に関するマイルストーン

研修医名	:									
研修分野	診療科:					(□ <u></u>	基幹型病院	口協力型病院	□その他)	
研修期間	:	_年	月	~ _		月				
評価者名	:				口上級医	□指導医	□他職種排	旨導者(職種名)
記載日	:	_年	月							

レベルの説明

レベル A	レベル B	レベル C	レベル D
医師として完成されたレベル	臨床研修の終了時点で期待さ れるレベル	改善の余地があるレベル	大きく改善する余地があるレ ベル

1. 医学・医療における倫理性

- ① 人間の尊厳と生命の不可侵性を尊重する。
- ② 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。
- ③ 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。
- ④ 利益相反を認識し、適切に管理する。
- ⑤ 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。

観察機会なし/NA	レベル A	レベル B	レベルC	レベル D
	診療、研究、教育に関する倫	診療、研究、教育に関する倫理	診療、研究、教育に関する倫	診療、研究、教育に関する倫理
	理的な問題について十分な認識	的な問題について十分な認識を	理的な問題についてある程度の	的な問題について、認識もそれら
	を持ち、適切な対応ができる。	持ち、ある程度の対応ができる。	認識を持ち、最低限の対応がで	への対応も不十分である。
			きる。	

コメント:

2.	医学知識と	問題対応能力
<i>-</i> .		P M25 /

- ① 主な症候について、鑑別診断と初期対応ができる。
- ② 患者に関する情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮して臨床決断を行う。
- ③ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。

観察機会なし/NA	レベル A	レベル B	レベル C	レベル D
	最新の医学的知識を基盤とし			
	た科学的根拠に経験を加味し			
	て、直面する診療上の問題を解			
	決できる。			
	•			

\neg	ィ	٠,	L	
_	1	_	1.	

2	診	肉	齿台	此	٦	串	耂.	\leftarrow	\overline{r}
J.	6多)	/宋1	ו על	見 (\subseteq	ᄶ	18	'	ľ

- ① 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
- ② 患者の状態に合わせた、最新の治療を安全に実施する。
- ③ 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を適切かつ遅滞なく作成する。

観察機会なし/NA	レベル A	レベル B	レベル C	レベル D
	臨床技術を磨き、患者の苦痛			
	や不安、以降に配慮した診療を			
	行う。			
	•			

\neg	イ	٠,	L	
_	1	_		

4	\exists	= -	1 -	ケー	・シ	\exists	`)	能	ナ	ı
т.	_ `	-	_	,	_	_	_	Hr.		

- ① 適切な身だしなみ、言葉遣い、礼儀正しい態度で患者や家族に接する。
- ② 患者や家族にとって必要な情報を整理し、わかりやすい言葉で説明して、主体的な意思決定を支援する。
- ③ 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

観察機会なし/NA	レベル A	レベル B	レベル C	レベル D
	患者の心理・社会的背景を踏			
	まえて、患者家族と良好な関係			
	性を築く。			
	•			

\neg	¥	٠,	L	
_	1	_	1.	

5	千—	1.	医療	ത	宔	멅
J.	,	$\boldsymbol{\smile}$	ハファ	v	\rightarrow	ILT.

- ① 医療を提供する組織やチームの目的を理解する。
- ② チームの各構成員の役割を理解する。
- ③ チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。

観察機会なし/NA	レベル A	レベル B	レベル C	レベル D
	医療従事者をはじめ、患者や			
	家族に関わる全ての人々の役割			
	を理解し、連携を図る。			
	•			

コメント:

6.	医療(り留り	∽安全	の管理
ο.	些派	<i>,</i> 55 C	- ^ -	·

- ① 医療の質と患者安全の重要性を理解し、評価・改善に努める。
- ② 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。
- ③ 医療事故等の予防と事後の対応ができる。
- ④ 医療従事者の健康管理(予防接種や針刺し事故への対応を含む)を理解し、自らの健康管理に努める。

観察機会なし/NA	レベル A	レベル B	レベル C	レベル D
	患者にとって良質かつ安全な			
	医療を提供し、医療従事者の安			
	全性にも配慮する。			
	•			

_	J	٠.	L	
_	\mathcal{F}	_	Γ	- :

7	차스	ニャ	ルス	医癌	の実践
1.	ᄯᅩ	\sim \sim	(<i>)</i> ()	 大 1世	ひょうきょうしょう

- ① 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- ② 健康保険、公費負担医療を適切に活用する。
- ③ 地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。
- ④ 予防医療・保健・健康増進に努める。
- ⑤ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
- ⑥ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要に備える。

観察機会なし/NA レベル A		レベル B	レベル C	レベル D
	医療の持つ社会的側面の重要			
	性を踏まえ、各種医療制度・シ			
	ステムを理解し、地域社会と国			
	際社会に貢献する。			
	•			

\Box	X	ン	ト	
_	•	_		•

0	エィ	~~~	44	4777.07	_
8.	不工	'고'	НΊ	探穿	Ξ.
ο.	11-1		н		ப

- ① 医療上湧きがってきた疑問点を研究課題に変換する。
- ② 科学的研究方法を理解し、活用する。
- ③ 臨床研究や治験の意義を理解し、協力する。

観察機会なし/NA	レベル A	レベル B	レベル C	レベル D
	医学と医療における科学的ア			
	プローチを理解し、学術活動を			
	通じて、医学医療の発展に寄与			
	する。			

\neg	ィ	٠,	L	
_	/	_	1	

9	牛涯	にわ	ナー つ	て#1	三学	ぶ姿勢
<i>)</i> .	一	しつ つフ	·		-	いマカ

- ① 早い速度で変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- ② 同僚、後輩、医師以外の医療職を教え、共に学ぶ。
- ③ 国内外の政策や医療上の最新の動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等)を把握する。

観察機会なし/NA	レベル A	レベル B	レベル C	レベル D
	医療の質の向上のために常に			
	省察し、他の医師・医療者と共			
	に研鑽しながら、後進の育成に			
	も携わり、生涯にわたって自律			
	的に学び続ける。			
	•			

\neg	ィ	٠,	L	
_	1	_		